

ナンバリング	B①05	科目名	こどもの保健（講義）		担当教員	有馬 祐子	
ディプロマポリシーとの関連性	①・③・④		担当形態	単独			
テキスト	「子どもの保健」学建書院 「子育てハッピーアドバイス知っててよかった小児科の巻 増補改訂版」一万年堂出版			単位数 授業形態	2単位 講義	開講時期	前期
講義概要 ■到達目標 1. こどもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解し、説明できる。 2. こどもの身体的な発育・発達について理解し、説明できる。 3. こどもの心身の健康状態とその把握の方法について理解し、説明できる。 4. こどもの疾病の予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解し、説明できる。 ■授業の概要 こどもの心身の健康や、身体的な発育・発達と保健に関する基本的な知識を学ぶ。また、保育及び地域における、他職種間の連携・協働の下での保健活動の実情と、その意義を理解する。また、こどもの疾病の予防及び適切な対応について検討する。ディスカッション、発表も取り入れ、学習を深めていく。 ■授業計画 第1回 健康とは何か、保育におけるこどもの保健とは何か 第2回 健康状態観察のポイント 第3回 現代社会の子どもの保健に関する現状と課題 第4回 地域における保健活動とこどもの虐待防止 第5回 こどもの身体的発達と保健、発育の原則 第6回 運動機能の発達について 第7回 生理機能の発達について（脳、呼吸器、循環器） 第8回 生理機能の発達について（消化器、排泄、代謝系） 第9回 心身不調の早期発見について 第10回 発育・発達の評価について 第11回 保護者との情報共有について 第12回 感染症の予防および適切な対応 第13回 アレルギー疾患の予防及び適切な対応 第14回 口と歯の健康と適切な対応 第15回 熱中症の予防及び適切な対応 ■準備学習 ・授業時に与えられた課題は、次回授業時までには必ず内容を把握すること。 ・授業の記録は、時々点検する予定なので、提出できるノートを用意し、記録の整理をしておくこと。 ■評価方法 ・授業での取り組み（ディスカッションへの積極的な取り組み、発言内容） — 10% ・授業でのワークシート — 30% ・事前学習のワークシート — 30% ・レポート — 30% レポートを未提出の場合は単位を認定しない。							
参考文献	授業中に適宜示す。			特記事項	・授業時には必要ないものを整理し、片付けるべき道具はしまうこと。 ・課題の提出においては、書式、提出期日を守ること。 ・単位を修得できない場合、こどもの健康と安全は履修できません。 【課題等へのフィードバック方法】 レポートには、コメントをして返却します。		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修			幼保	保育の対象の理解に関する科目		
実務経験のある教員等による授業内容							